

## 4 社会実験時の安全対策計画について

社会実験の安全かつ円滑な運営や自動車交通に伴う道路混雑の緩和等を図るため、警備員等を配置し、自主整理を行う。

### 4.1 配置人数

- 約 120 名（ガードマン：約 100 名，交通誘導員：約 20 名）  
（ 実験実施中の一日当たりの最大配置人数 ）

### 4.2 役割

交差点における自動車の誘導

周辺道路における自動車の迂回誘導

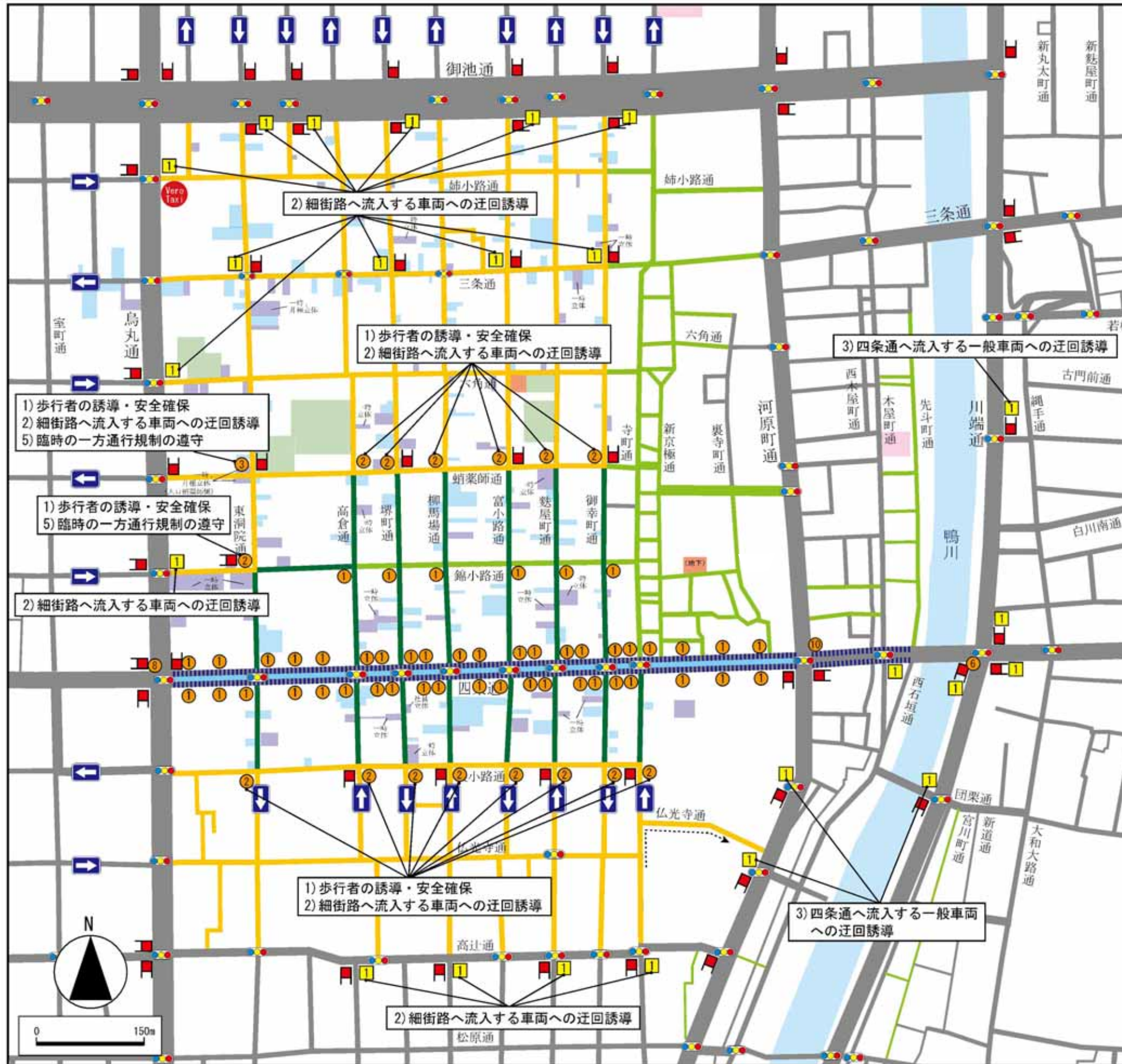
駐停車の抑制

四条通・細街路における歩行者の誘導 など

### 4.3 看板・垂れ幕配置数

- 広報看板，垂れ幕：約 100 枚
- 臨時交通規制看板：約 20 枚

警備員等の配置(案)



- 凡 例
- ガードマン・交通誘導員の役割
- 1) 歩行者の誘導・安全確保
  - 2) 細街路へ流入する車両への迂回誘導
  - 3) 四条通へ流入する一般車両への迂回誘導
  - 4) 路線バス・タクシー以外の車両の進入防止・迂回誘導
  - 5) 臨時の一方通行規制の遵守
  - 6) 万一、許可車が通行する場合の車両誘導

- 凡 例
- 🚧 : 「通過交通の抑制」と「ゆとりある歩道」を周知する看板
  - 👤 : ガードマン (約 100名)
  - 👮 : 交通誘導員 (約 20名)
- 図中の数値は人数を示す

- 凡 例
- 👤 (Blue Dotted): 歩道拡幅
  - 👤 (Light Blue): トランジットモール
  - 👤 (Green): 自動車交通制限区間
  - 👤 (Yellow): 歩車共存道路
  - 👤 (Light Green): 歩行者専用区間
  - 👤 (Orange): 新設駐輪場
  - 👤 (Pink): 既設駐輪場
  - 👤 (Purple): 駐車場 (一時)
  - 👤 (Light Blue): 駐車場 (月極)
  - 👤 (Green): 文教施設